Creative Enzymes®

ネイティブ大腸菌アスパラギナーゼ

Cat. No. PHAM-226

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	アスパラギナーゼ（EC 3.5.1.1、USAN）またはコラスポース（BAN）は、アスパラギンをアスパラギン酸に加水分解する反□を触媒する酵素です。アスパラギナーゼは微生物によって発現および生成される酵素です。
用途	アスパラギナーゼは酵素アッセイで使用され、アスパラギンをアスパラギン酸に□換します。アスパラギナーゼは、デンプンを含む食品製品におけるアクリルアミドの生成を減少させるために使用されます。また、急性リンパ芽球性白血病の化学療法剤としても使用されます。製品は大腸菌（Escherichia coli）由来で、塩化ナトリウムを含む凍結乾燥粉末として提供されます。
別名	EC 3.5.1.1; アスパラギナーゼ; コラスポーゼ; L-アスパラギナーゼ; L-アスパラギン アミドヒドロラーゼ

製品情報

由来	大腸菌
形態	凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.5.1.1
CAS登□番号	9015-68-3
組成	タンパク質、> 60%
単位定義	1ユニットは、37°CでpH 8.6の条件下でL-アスパラギンから1.0μモルのアンモニアを□分放出します。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C